

奈良障運だより

奈良県障害者
運転者協会

No. 25

発行日	平成二十四年十一月一日
発行者	榎原泰彦
編集	奈良障運編集部

平成二十四年度に当たって

榎原泰彦

皆さんの年次に立てられた計画は、達成に向けて進めておられる事と思います。皆さんの顔を拝顔いたしますと健康そう
で元気をもらいます。

41年目を迎えました奈良障運は、年初から始まるスケジュールを次々とクリアーして貰っている事を嬉しく思っています。41回目の総会、一泊旅行、日帰り旅行、協会が一番大きいイベント安全運転フェスティバルまで、大きな支障もなく運営にご協力頂いた会員、並びにボランティアの皆さま、労を支えて頂いている役員の方々の皆様のお陰と感謝申し上げます。

高齢化社会の日本は、70歳以上の高齢者が全国で2000万人と言われています。また、残念な事ですが、特に高齢者の交通事故が増加しています。それは、高齢化による身体的機能の低下が大きな要因のようですが、高齢者が運転を行う機会が増え、これに比例して事故も増加している事は事実です。国では、高齢者の運転免許返上に対して、特典を与えるほどの社会的問題になっていきます。運転者協会では、毎年、競技会を開催し皆さんの運転技術の向上や初心を忘れる事なく、基本操作を思いだしてもらい、マナー向上を目指しています。41回目を迎えた競技会ですが、今後とも皆さんの協力のもと続けて参りたいと思います。

目次

平成二十四年度に当たって	会長	榎原泰彦	1
第41回総会	事務局長	汐碓昭義	2
1泊旅行と金環日食		澤田孝夫	2
夏の日帰り旅行		飯田弘子	3
シンクロナイズドスイミング		宝田鈴子	4
郵便局巡りの旅		岸本 慈	4
第41回奈良県安全運転フェスティバル		馬郡 繁	6
青丹学園ボランティア感想文		学生 4名	6
受賞者一覧			7
カラオケで喉の披露を		灰藤節子	8
新車購入時のお願い		藪内章司	8
編集後記		野本美代子	8

第41回奈良県障害者運転者協会総会

事務局長 汐院 昭義

第41回奈良県障害者運転者協会

(奈障運) 総会が平成24年4月21日(土)午前10時30分から午後3時まで開催されました。当日は来賓として、滝 実衆議院議員秘書をはじめ15名の方が参加されました。会員の出席者は60名、委任状提出者29名で会員総数110名に対して、89%で総会は成立致しました。総会は副会長西村佳代子さんの司会で開会し、最初に榎原泰彦会長が挨拶を述べられました。また、来賓の挨拶は奈良県健康福祉部障害福祉課長土井敏多氏、奈良県議会議員新谷絃一氏代理の新谷ひろゆき氏、奈良市議会議員宮池明氏、奈良市保健福祉部次長奥谷香子氏から暖かいお言葉を受けました。なお、祝電を前田武志参議院議員をはじめ、12名の方からいただきました。総会は議長に副会長の齋藤恵彦氏を選出し、平成23年度

事業報告、会計報告、平成24年度役員候補の選出、事業計画、会計予算

等案件を出席者の承認を得て、総会決議を採択して無事に終了致しました。昼食時には衆議院議員高市早苗氏が到着され、挨拶をされました。午後の部は「ソプラノ 岡田由美子」のコンサート。祈りを込めて「コンサートを開催致しました。ピアノ演奏は松原由香さん、特別出演で大正琴さくらの会の皆様との「ソプラノ」も楽しみました。楽しい2時間を過ごしました。第41回総会開催に協力いただきました、来賓の皆様、コンサートの開催にご協力いただきました岡田由美子様、松原由香様、大正琴さくらの会の皆様及び役員の皆様ありがとうございました。



岡田由美子さん

1泊旅行と金環日食

澤田 孝夫

平成24年5月20～21日リフト付きバスに乗って越中・氷見の旅に参加しました。20日は福井・越前人形の里で昼食をとり、竹人形工房の見学、竹籠や花器などの伝統工芸の竹細工職人の説明を聞きながら「なた」を巧みにあやつり一本の竹を何千回と割って、絹糸のように細くなった竹人形の毛髪は自然に流れる髪の毛の姿になってなんととも言えない風情がただよいます。館内には「竹取物語」や「紫式部」等の作品が展示されています。目を転じると竹林の空間と静けさ、明るさが肌感じられました。越前竹人形は細心に造形してまさに「竹の精」絶妙な匠の枝だと言っても良いかと思えます。富山・越中八尾観光会館に於いては「越中おわら風の盆ステージ」の観賞を堪能して、心に響く三味線の音と胡弓の音をバックに勇壮な男踊り、しっとりした女踊り等を華麗な舞台を見させてもらいました。ショーが終わってから出演者と一緒に踊りを習いたかったのですが時間がなくて残念・・・曳山では山車が3台展示館にあって、漆を使った彩色が施された極彩あざやかな芸術山車でした。山車を守る空調関係も行き届き保護されていました。夕刻近く砺波観光ホテルに到着。露天風呂で一日の疲れを取りました。宴会では恒例の力ラオケで美声を聞きながらアルコールも進みました。今回の一泊二日の旅行は特別な思い出の日になりました。一生のうちは何度出会うかわからない「金環日食」の朝を砺波ロイヤルホテルで迎えました。太陽が月に隠れてリングのように見える平成24年5月21日午前7時20分、私はホテルの玄関に立っていました。すると若い夫婦づれが金環日食用の観察グラスを持っている事に気がつき近づいて少しグラスを覗かせてもらう事に成功しました。ほんの一瞬の出来事でしたが目に焼き付けました。本当にきれいな天体ショーを味わうことが出来ました。

2日目はチューリップ四季彩館を見学。チューリップは春にしか咲かないと思っていましたが、赤・白・黄色のほかピンク・オレンジ・紫等

とカラフルなチューリップが迎えてくれました。館内にはコンピュータ操作で動くチューリップ「お取り下さい」手を出すと消える上手く出来ているな・・・。チューリップの歴史を閲覧して生花のチューリップがここでは一年中見られると聞きましたが、今年は自宅で球根を買ってきてプランターで花を咲かせましたが、数日で花びらが散ってしまいました。

最後の見学は氷見フィッシャーマリンズワーフ「海鮮館」です。朝捕れた新鮮な海の幸・山の幸の直販施設で買い物をしました。富山湾越しにそびえる立山連峰を見ながら、大パノラマが一望でき絶好のビューポイントでした。遊覧船に乗って氷見沖の潮風を受けながら唐島・阿尾城跡・定置網のルートで約25分クルーシングを楽しみました。帰りのバスの中でビンゴゲームをしました。一番最初にビンゴが完成しました。

今年ほかの新年会でも一番になり今年はなにか運が回ってきそうな予感がします。宝くじでも当たればと高額を狙って買うのですが・・・？

最後になりましたが役員の方々お世

話して頂き本当にありがとうございました。



カラクリ時計台

夏の日帰り旅行

飯田 弘子

平成24年8月18日奈良県障害者運転者協会から日帰り旅行で鳥羽に行きました。JR奈良を8時に出発して鳥羽、扇野の宿「扇芳園」に11時に着きました。食事するのに、まだ時間が有ったりで、温泉に入る人と見学する人と別れました。私は、ホテル裏山にある池のメダカの学校を見に行きました。その時歩きにくか

だったので秦さんに手を引いてもらいました。音楽人形館も見学しました。食事の時間になって、ホテルのバスが迎えに来てくれました。食事の前にみんなで記念写真を撮りました。食事は沢山あって、何から食べようか迷いました。お腹一杯になりました。食後はバスに乗って鳥羽水族館に行きました。いろんな魚がいました。大きい小さいの可愛いの気持ちわるいの。あとペリカン、ペンギン、タコもみました。オットセイの餌付け、アシカショーも見ました。ショーが終わった後帰る途中トドとオットセイが喧嘩をしてました。自然なショーも見られて良かったです。水族館を出発して伊勢志摩土産センターに行きました。お土産を買って奈良に向かい、バスの中でビンゴゲームをしました。初めの数字が空いただけで、なかなか空がなくて、しばらくしてどんどん空いてきて、アッと言う間にリーチ、トリプルリーチその後もリーチはあるけどビンゴはなかなか、だんだん諦めて、もうこのままで終わるかなーと思ったころに来ましたビンゴやった!!でも

二人いてジャンケンで勝ちました。40番商品券が当たりました。最後まで粘った甲斐がありました。途中上野で止まって小休止そこから、おにぎりとお茶を買いバスの中で食べました。雷が鳴ってすごい雨になりました。でもバスの中だから良かったです。奈良に帰ってきて雨も止んでいます。楽しい一日でした。どうも有り難うございました。



鳥羽 日帰り旅行

シンクロナイズドスイミング

宝田 鈴子

私は74歳。シンクロナイズドスイミングをしています。肢体不自由で人工股関節を入れています。片方は手術見合わせています。25年のうち4度の入れ替えで今に至っています。何とか日常生活をみんなに支えられて送っています。それも水がありプールがあるからリハビリのつもりで始めた泳ぎも、今では友達の輪ができ、旅行にカラオケにパソコンと楽しい人生を送らせて頂いています。シンクロナイズドスイミングについて少し説明致します。一般的にはテレビなどで放映されるシンクロを想像されると思いますが、障害者シンクロは重度の方はサポーターが付きます。二人三脚で演技を行います。手が動かない人は使える方の手をと云う具合に車椅子利用人も水の中では体重が軽くなり 自由に動く楽しさを感じています。

障害の有無・種別・男女・年齢にとらわれず誰でも出来るシンクロと

して多くの方が取り組まれ、演技を発表されます。全国で京都を本部とし、フエスティバルを目的として1年懸けて練習に励んでいます。その他、地方の大会に招かれたり 旅行を兼ねてご家族と一緒に参加したり、年に3回以上遠征に行きます。シンクロをする事により自己の可能性にチャレンジすることもあり、音楽と水と仲間と同調し自信に満ちた社会生活を送られています。奈良県ではこの様な取り組みは(あすなろ)チームですが、何時でも募集していますので ひとりでも仲間が増えることを望んでいます。幸い今年は優勝をして産経奈良版に掲載されて多くの方に知られる事になりました。私も歳を重ねて体力的にも衰えを感じています。今出来ることを自分も楽しみ乍ら誰かの役に立てたらと思う今日です。



青春18キップ全国百線鉄道

郵便局巡りの旅

岸本 慈

私がこの旅行を始めたきっかけは九州へ新幹線で出かけたとき隣の合わせになった同年輩の橋爪さんという女性です。ニューシラントの語学研修を終えて当時の同窓生に会いに博多へ行くという時でした。旅好きで行く先々の郵便局で貯金して押印して頂く、その通帳を見せていただいたのが事の始まりです。初回は平成23年3月11日の城崎温泉の旅でした。その日の14時46分頃湯船につかって残雪が残る円山川の風情ある情景を眺めながら寛いでいました。その夕刻JRで帰宅の途につき20時30分頃大阪駅に到着しました。その時周りの様子が少し騒々しいと思い始めた頃、宮崎在住の長女から携帯電話があり「お母さんがいくら電話しても通じない。」とのことば、未曾有の東北大地震の状況が少しづつ分かってきました。

それから1年半後の平成24年9月10・11日三男の結婚式に福岡へ行き、帰りの福岡空港内郵便局で468局を記録しました。一局一局にそれぞれの土地の思い出が詰まっています。今回は平成24年8月5日から8月11日までの東北の夏祭り及び東京周辺の旅の一部の旅行記をお届けします。8月5日(日)19時40分発阿倍野橋から近鉄高速バスで翌朝7時49分山形駅前着が始まり。お目当ては「山形花笠まつり」。威勢のいい掛け声と花笠太鼓の響きと共に華やかに彩られた山車を先頭にして艶やかな衣装と紅花をあしらった笠を手にした踊り手たちがメインストリートを舞台に群舞を繰り広げます。将棋の駒で有名な天童市、地元葛城市新庄町と友好都市の山形県新庄市、全国花火大会の大曲市、本日最終日の「秋田竿燈まつり」約250本の竿、1万個の提灯によって大通りに大きな天の川を描く光の祭典。竿燈

を操るのは町内や企業から選り抜きの若衆で流麗なお囃子の音色に合わせ「どっこいしょ」の掛け声とともに1本約50kの竿燈を額、肩、腰へと軽々と移し変えていく妙技に惹き込まれてしまう。翌朝9時秋田市の郵便局で初めて局巡りの旅をされている70歳代のお母さんに会いまして。神奈川県川崎市から来たこの事。先週は京都へ行ってすでに1000局を突破してるそうです。次にバスケットボールで町おこしの能代、本州最北の弘前城を経て青森に着きました。毎年300万人を超える見物客を集め全国の夏祭りを代表する「青森ねぶた祭り」。歌舞伎や歴史神話等を題材にした巨大な灯籠の内部は総容量約2万ワットにもなる電球や蛍光灯が取り付けられ外部はおよそ2500枚の和紙で覆われ50人がかりで持ち上げられた高さ5mのねぶたが青森中心部を運行する様子は迫力満点、周りでは沢山のハネ

ト達が「ラッセラー」という掛け声とともに歓喜乱舞します。私は、最終日優秀賞に輝いた5つのねぶたが海上運行するのを見学しました。海上花火とともにこの時間に合わせ世間一周クルーズ船が停泊してそのクルーズ船の廻りを「ラッセラー」の掛け声と共に周回する今までに見たこともない大音響の豪華花火で最高潮に達しました。クルーズ船が有難うの印に「ボオー」と汽笛を鳴らし去っていききました。本年最大の感動で夢のような2時間を過ごしホテルへ戻るまで興奮が醒めませんでした。次の日日本最初の防雪林とスキー発祥の地野辺地を経て、東北最大の漁港とねぶたの八戸市、いわて銀河鉄道で盛岡、宮沢賢治の花巻、北上を経て仙台に着きました。笹竹に飾られたひときわ大きな色とりどりのくす玉と吹き流しが織りなす仙台夏の風物詩、それぞれに趣向を凝らした笹飾りが仙台市内を埋め尽く

し華やかに彩ります。次の日仙台を出てまもなく東北大地震の名残の仮設住宅が見えました。福島・郡山を経て須賀川に着きました。私が若い頃情熱を傾けたマラソンで東京オリンピックマラソン銅メダリスト円谷幸吉の故郷である。真面目で責任感の強い彼が過ごした街を散策しました。この時は403局から437局の旅でした。全国の催し、話題の町々を地図・時刻表を片手に心ときめく楽しい毎日です。私の知らない貴方のふるさとを教えてください。



41回奈良県安全運転フェスティバル

馬郡 繁

9月8日・土曜日に奈良県障害者運転者協会の主催で「第41回奈良県安全運転フェスティバル」が奈良県運転免許センターで開催されました。開会式には、前川きよしげ参議院議員、小林しげき奈良県議会議員、小城利重斑鳩町長などの25名の来賓をお招きし、檜原会長の挨拶や祝辞・祝電を賜りました。

開会式の後、3グループに分かれて「運転競技会」や日本自動車連盟・奈良支部による安全運転講習がありました。今年のテーマは「危険予知運転」で、日頃何気なく運転している道路にも沢山の危険が潜んでおり、危険を予知して事故を起こさない運転についてビデオを使用して解説して頂き、危険予知運転が重要なことを学びました。センター前の駐車場では自動車メーカー各社のご協力による福祉車両の展示会などが行われました。日に日に進歩する福祉車両の最新モデルが展示され皆さん熱心に見学していました。

「運転競技会」は同センターの試験

場を使用し、審査はセンターの試験官による本格的な競技です。健常者・障がい者・男・女まったくハンデなしで同一基準で審査されます。審査のポイントは「基本に忠実」です。基本の大切さと、基本に忠実がポイントの競技会です。初心に帰って、運転の基本を再認識したことで、日頃の運転に生かして競技会には、46名が参加し成績優秀者は閉会式で表彰されました。上位3名は次の方です。1位 藪内章司さん 2位 西岡千恵子さん 3位 山田悦子さん 当日の様子は、奈良新聞の9日付けの紙面にも掲載されました。来年も開催予定なので、ベテランドライバーもぜひご参加ください。今回のフェスティバルには、郡山高校、西の京高校、青丹学園の学生ボランティアの皆さん35名も参加して頂きました。受付や競技会の車両誘導などをお手伝いしてもらいました。健常者と障がい者の相互理解を深めることが出来ました。



馬郡 繁さん

青丹学園学生ボランティア

大西 琢磨

今回のボランティアでは身体障がいかたでも車をスムーズに運転されているのですごくびっくりしました。私たちは車の誘導などのボランティアをしましたが、スムーズにできたのでみんなの協力があったからだと思います。チームワークの大切さも学ばしていただきました。ありがとうございました

柏 隆寛

朝、障害者の人にあいさつをするとなんさんとても元気にあいさつを返されたので、障害があっても毎日を元気に生活されているのだと感じました。自分も毎日を一生懸命生活しようと思いました。

清水 明男

参加者、一般ボランティア、学生ボランティアが協力し合いフェスティバルが成功しよかったと思います。私は自動車を運転するので、これからも安全運転に心がけたいと思います。

辰巳 礼華

障害をもっておられる人もっていない人もそれぞれで自動車の運転を自由ににされていました。自動車を改造

して車椅子の使用者が運転されていますが、使用者によっていろいろな改造されていることがわかりました。みなさん緊張されておりドキドキ感が伝わってきました。



募集しています

編集部に入って奈障連だより

作ってみませんか・・・

第41回奈良県安全運転フェスティバル 受賞者一覧表

賞名	氏名	住所
奈障運協会長賞	藪内章司	奈良市
県知事賞	西岡知恵子	奈良市
県議会議長賞	山田悦子	奈良市
県警交通部長賞	阿部哲也	橿原市
県連合会長賞	辻本浩之	下市町
県安協会長賞	辰巳奈津	橿原市
奈良市議会議長賞	汐碓昭義	奈良市
奈良市長賞	灰藤節子	大和郡山市
橿原市長賞	中出邦子	大和郡山市
大和郡山市長賞	松嶋克直	奈良市
天理市長賞	壺井三治男	奈良市
生駒市長賞	西村佳代子	御所市
桜井市長賞	上原美登里	奈良市
大和高田市長賞	島津史男	奈良市
香芝市長賞	山村千代	奈良市
御所市長賞	浦谷里美	大和郡山市
五條市長賞	西田吉文	奈良市
葛城市長賞	長井静男	橿原市
宇陀市長賞	宮池明	奈良市
斑鳩町長賞	保井とし子	王寺町

賞名	氏名	住所
朝日新聞賞	檜原泰彦	桜井市
J A F 賞	中川公子	大和郡山市
スズキ奈良賞	戸嶋敬治	宇陀市
トヨタカラー奈良	山本信義	奈良市
奈良スバル賞	荒木明美	奈良市
奈良ダイハツ賞	宮崎晋一	奈良市
奈良トヨタ賞	村上信子	奈良市
奈良トヨタ賞	中村重信	奈良市
奈良日産自動車	橋本弘子	奈良市
奈良マツダ賞	西井正輝	生駒市
日産プリンス奈良	奥田秀	平群町
ネットワザ奈良賞	辰巳一彦	橿原市
ホンダネットナラ賞	磯田恵三	奈良市
ホンダ四輪南近畿	高森敏夫	生駒市



優勝カップ



優勝者藪内章司さん

カラオケで喉の披露を

灰藤 節子

朝夕、秋の気配が漂ってきた去る9月21日(金)5回目となるシダックさんのご招待でカラオケファンクラブの会員29名がカラオケを楽しみました。サラダ付きのサブゲティやうどん・飲み物・デザートなど美味しくいただきました。腹ごしらえができたところで古い懐かしい歌や新しいワクワクする歌などつきつき途切れることなく喉の披露をさせていただき楽しい午後のひとときでした。シダックさんご馳走様でした。そして会員の皆さん、カラオケはシダックさんをご利用ください



新車購入時のお願い

新車購入される時には、是非奈障連の藪内・汐碇へお声をかけて下さい。奈障連が自動車販売店を紹介し、ますと色々な便宜を自動車販売店から図ってもらえます。

例えば紹介料が頂けたり安全運転フェスティバルの時の景品等の協力が得られます。会員及び、お知り合いの方のご協力をお願い致します。



連絡先 藪内章司

携帯〇九〇・二七〇九・〇六一九

連絡先 汐碇昭義

携帯〇九〇・七〇九一・四五五五

編集後記

野本 美代子

吹く風はもうすっかり秋、暑かった夏の節電対策はどのようにして過ごしておられましたか?。

奈良県の今年5月28日から9月30日までに熱中症で消防署から搬送された人は573名、内2名が亡くなられたそうです。ロンドンオリンピックで、熱く燃え上がった時期が過ぎて、またまたホットニュースが飛び込んできました。

i ps 細胞開発、再生医療への道を開いた功績が評価され「山中教授ノーベル医学・生理学賞受賞」難病の方々が回復への道が開けることが夢ではなくなりました。

私たち奈障連会員の皆さまには、「奈障連だよりNo.25号」のホットニュースをご覧頂ければ幸いです。奈障連だより25号発行にあたり編集部員の皆様並びに、ご投稿にご協力頂いた皆さまのお陰を持ちまして25号を発行する事が出来ました。今後ともご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

「奈障連だより」第25号 2012年(平成24年)11月1日発行

発行所 — 「奈良県障害者運転者協会」

発行人 — 榎原泰彦 〒633-0062 桜井市栗殿 1030-1

TEL — 0744-45-2304 メール takumiie@m4.kcn.ne.jp

URL — <http://www.nashoun.cm/>

編集部 — 野本美代子 〒631-0846 奈良市平松2丁目4-12

TEL — 0742-43-3820 メール ma78ac26ml@kcn.jp

郵便振替口座 — 00910-3-43637 「奈良県障害者運転者協会」

木村有美子